



CORPORATE BOOK

平成26年3月期 (第5期)



～創造と貢献～ 新しい価値を創造して、社会に貢献する



代表取締役社長
襟川 陽一

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。当社第5期(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)の報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

ゲーム業界は、スマートフォンゲームをはじめネットワークコンテンツ市場を中心に成長を続けております。家庭用ゲーム市場においても新ハード「PlayStation 4」が順調に立ち上がり、新たな市場活性化が期待されています。

このような状況において、当社グループは経営方針「IPの創造と展開」のもと、各事業において様々な施策に取り組んでまいりました。新規IPの創造では、大ヒットを記録した「討鬼伝」が、新たな柱として立ち上げに成功しました。また、既存IPではゲームソフト事業において「信長の野望」シリーズの30周年記念作品「信長の野望・創造」が好評を博し、オンライン・モバイル事業において「大航海時代V」をシリーズ初のブラウザゲームでリリースするなど、積極的に多面展開を行いました。また、メディア・ライセンス事業では黒字化を実現し、SP事業でもオリジナルキャラクターを活用したパチンコ「CR遊砲RUSH」を創出するなど、成果を挙げることができました。これらにより、営業利益、経常利益、当期純利益は、4期連続して最高益を更新し、配当につきましても、経営統合以来、最高額をお届けすることができました。

次期におきましては、「更なるIPの創造と展開」を経営方針とし、新規IPの創発と既存IPの展開を軸とした総合的な発展を目指してまいります。具体的には「ぐんたま～軍師の魂～」などスマートフォンゲームでの大ヒットタイトルの創発、「ゼルダ無双」のような新規大型コラボレーションの推進と成功、「金色のコルダ」をはじめとするアニメの展開など、各種施策に邁進いたします。

株主の皆様には、引き続き一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年6月
代表取締役社長 襟川 陽一

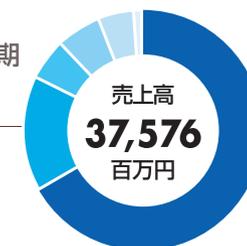
平成26年3月期の状況

当連結会計年度におけるわが国経済は、個人消費が堅調に推移し、生産や設備投資に持ち直しの動きがみられたほか、雇用情勢も着実に改善されるなど、緩やかな回復基調が続きました。

ゲーム業界におきましては、スマートフォンゲームが牽引する形で、市場全体としては依然成長が続いております。なかでもネイティブアプリのジャンルは、ユーザーの幅広い支持を受け急拡大を遂げました。家庭用ゲーム市場におきましては、新型ゲーム機「PlayStation 4」が順調な立ち上がりを見せ、ダウンロード販売やフリートップレイ課金も増加傾向にあります。今後につきましても、「Xbox One」の国内発売や、スマートフォン・タブレット向けゲーム分野の伸長により更なる成長が期待されます。

このような経営環境下において、当社では経営方針「IPの創造と展開」のもと、各種施策に取り組んでまいりました。新規IPへのチャレンジにより「討鬼伝」が成功を取めたほか、コラボレーションや「戦国無双」アニメ化等のタイアップ企画、「信長の野望」「Winning Post」「金色のコルダ」の周年事業などを通じ、既存

平成26年3月期



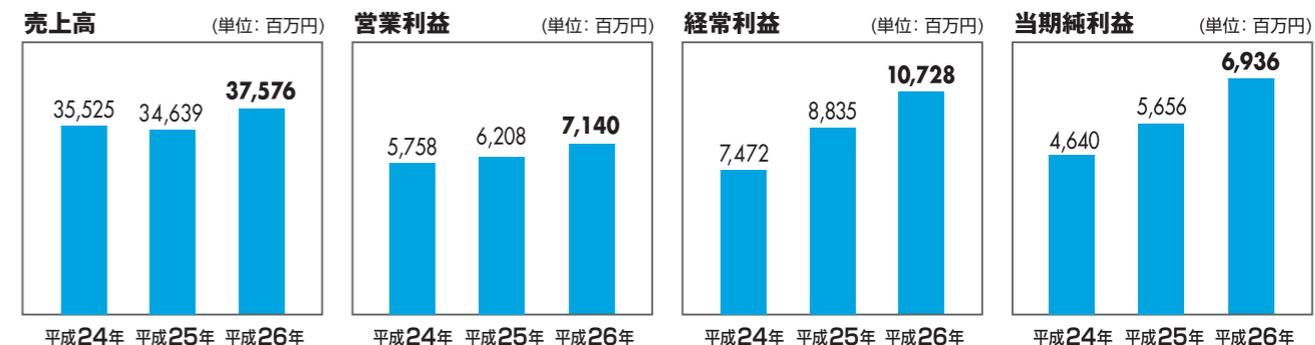
IPの展開を積極的に推進いたしました。

また、株式相場の上昇や為替相場が円安で推移した影響などにより、有価証券関連損益も大きく改善しております。

これらにより、当社グループの当期業績は、売上高375億76百万円(前年同期比8.5%増)、営業利益71億40百万円(同15.0%増)、経常利益107億28百万円(同21.4%増)、当期純利益69億36百万円(同22.6%増)と増収増益を達成し、いずれも経営統合以来最高の業績となりました。

なお、営業利益、経常利益、当期純利益につきましては、4期連続して最高益を更新いたしました。

●財務ハイライト

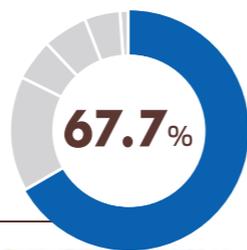




株式会社コーエーテクモゲームス

ゲームソフト事業

売上高 **25,441** 百万円 営業利益 **6,017** 百万円



新規IPである「討鬼伝」(PSVita、PSP用)の立ち上がりが非常に好調で、今後IPの柱の1つとして育成してまいります。周年事業では、30周年記念作品「信長の野望・創造」(PS3、PS4、Win用)がシリーズ歴代最高の発売日セールスを記録するなど好調な滑り出しとなりました。20周年記念作品「Winning Post 8」(PS3、PSVita、Win用)や10周年記念作品「戦国無双4」(PS3、PSVita用)も順調な売行きを示しております。「PlayStation 4」対応を行った「真・三國無双7 with 猛将伝」(PS3、PS4、PSVita用)も販売を伸ばしました。ワールドワイドでは、「YAIBA: NINJA GAIDEN Z」(PS3、Xbox360、STEAM用)、「影牢～ダークサイドプリンセス～」(PS3、PSVita用)をリリースいたしました。PS3用に配信中の「DEAD OR ALIVE 5 Ultimate」基本無料版も100万ダウンロードを突破するなど人気を集めております。

当社グループが開発を担当したタイトルでは、「真・ガンダム無双」(PS3、PSVita用)が大変好評を博しました。ガストタイトルでは、「エスカ&ロージーのアトリエ～黄昏の空の錬金術士～」(PS3用)、「アルノサーージュ～生まれいする星へ祈る詩～」(PS3用)などが堅調に推移し、業績に貢献いたしました。また、スマートフォン向けに「ギャロップレーサー」など2タイトルをリリースしております。新旧タイトルが堅調に推移したことに加え、ダウンロードコンテンツ販売も伸長したことなどから増収を達成し、過去最高のセグメント売上となりました。なお、一部新作タイトルの発売延期などから減益となりました。



株式会社コーエーテクモゲームス

オンライン・モバイル事業

売上高 **6,423** 百万円 営業利益 **1,073** 百万円



ソーシャルゲーム事業では、「100万人の信長の野望」「100万人の三國志」「100万人のWinning Post」などの「100万人」シリーズにおいて、マルチプラットフォーム展開を推進した結果、好調に推移しております。また「大航海時代V」をシリーズ初のブラウザゲームとしてリリースしたほか、ネイティブアプリ「LINE であーん」が累計250万ダウンロードを突破いたしました。海外では、「のぶぎゃの野望」が台湾のユーザー投票において2年連続で金賞を獲得するなど、好評を博しております。

コミュニティサイト「my GAMECITY」では、人気タイトルの導入やスマートフォン版の本格始動など、プラットフォームサービスを拡大したことにより、会員数50万人を突破いたしました。

オンラインゲーム事業においては、「信長の野望 Online～天下夢幻の章～」(PS3、PS4、Win用)、「真・三國無双 Online Z」(PS3、Win用)を発売したほか、各タイトルとも底堅く推移いたしました。海外では、中国において「信長の野望 Online」のサービスを開始したほか、「大航海時代 Online」が韓国・中国をはじめとするアジア地域で引き続き人気を集めております。

以上の結果、増収増益を達成し、経営統合以来最高のセグメント売上となりました。





株式会社コーエーテックモゲームス

メディア・ライツ事業

売上高 **2,071** 百万円 営業利益 **202** 百万円



「金色のコルダ」10周年記念事業として、「金色のコルダ3 AnotherSky feat. 神南」(PSP用)をはじめ3タイトルをリリースしたほか、「ネオロマンス・フェスタ 金色のコルダ 10th Birthday」など2本のメモリアルイベントを開催し、大変好評を博しました。ライブDVD、キャラクターグッズなど関連商品も好調な売上となりました。

また、新規IPである「下天の華」についても、続編となる「下天の華 夢灯り」(PSP用)を発売いたしました。

スマートフォン向けに「下天の華 刻の詩」を配信し、イベントを2本開催するなど、IPの展開を積極的に推進するとともに、コスト管理も徹底いたしました。

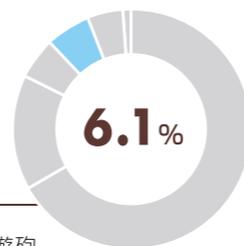
これらにより、大幅に業績が向上し、黒字転換を果たしました。



株式会社コーエーテックモウェブ

SP事業

売上高 **2,278** 百万円 営業利益 **923** 百万円



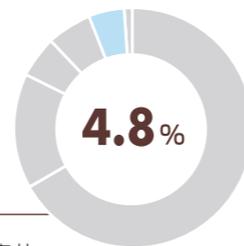
パチンコ機「CRぱちんこRio Rainbow Road」、新たなオリジナルキャラクターを活用したパチンコ機「CR遊砲RUSH」など合計10機種がリリースされました。パチンコ・パチスロ機への著作権許諾及び液晶ソフト受託開発が堅調に推移したことに加え、開発ラインの増強などにより、増収増益を達成し、経営統合以来最高のセグメント売上・利益となりました。



株式会社コーエーテックモウェブ

アミューズメント施設運営事業

売上高 **1,796** 百万円 営業利益 **90** 百万円



「テックモピア船橋店」のオープンに加え、売場のニーズに合わせたゲーム機械の導入やサービスの見直し、集客効果の高い「のぶニヤがの野望」のキャラクターを活用した店舗イベントなどを開催したことにより、既存店売上高は底堅い動きとなりました。引き続き業務の効率化に努め、収益力の高い事業体質を構築いたします。

パートナー各社の商品 (株式会社コーエーテックモネット)

アイディアファクトリー株式会社「薄桜鬼SSL ~sweet school life~」、株式会社アクワイア「AKIBA'S TRIP 2」、株式会社アートムーヴ(ブランド名:QuinRose)「新装版 ハートの国のアリス」など、恋愛アドベンチャーゲームやアクションアドベンチャーゲームを中心に、パートナー各社のタイトルが好評を博しました。

コンサルティング営業を強化し、パートナー各社と協力して、今後もお客様に良質のゲームを提供してまいります。



超WORLDサッカー! (CWS Brains株式会社)

CWS Brains株式会社は、サッカーファン向け最新情報を提供する人気サイト「超WORLDサッカー!」のモバイルへの展開を開始、早くもその市場において日本最大級のサッカー情報サイトへと進化しています。

また、「超WORLDサッカー!」が全面サポートしているソーシャルゲーム、「100万人の超WORLDサッカー!」をGREE、mobcast、my GAMECITY、dゲームで好評サービス中です。



CSR

私たちは、コーエーテックモグループの精神「創造と貢献」を実践し、事業活動の発展と、さまざまなCSR活動を通じて、社会に貢献していくことが重要であると考えています。今後も、エンターテインメント企業として、学術・文化の発展、地域貢献など、積極的な社会貢献に努めてまいります。

■学術振興活動

日本シミュレーション&ゲーミング学会(JASAG)や科学技術融合振興財団(FOST)への助成を通じて、シミュレーションやゲーミングを教育・学術分野に応用し、科学技術と人間社会・文化が融合した豊かな世界を創造するために支援を行っています。

■地域・社会貢献活動

当社グループのIPを活用した地域・社会貢献活動への協力、継続的な献血活動の奨励などを行っています。

■災害支援活動

国内外で発生した災害に対して義援金・救済金などの支援活動を行っています。こうした支援活動に対して、日本赤十字社や中央共同募金会から感謝状を受領するなど、その貢献が認められています。



第7回 FOST賞授賞式・記念パーティー

●連結貸借対照表

科 目	前連結会計年度	当連結会計年度
	平成25年3月31日	平成26年3月31日
資産の部		
流動資産	31,416	25,274
現金及び預金	13,851	12,192
受取手形及び売掛金	9,302	8,755
有価証券	3,818	787
商品及び製品	303	183
仕掛品	143	17
原材料及び貯蔵品	107	96
繰延税金資産	923	826
その他	2,997	2,454
貸倒引当金	△32	△40
固定資産	63,594	75,347
有形固定資産	14,200	16,045
無形固定資産	2,722	1,366
のれん	2,333	1,090
その他	388	275
投資その他の資産	46,671	57,934
投資有価証券	45,339	56,905
更生債権等	5	2
敷金及び保証金	669	670
繰延税金資産	493	211
その他	169	148
貸倒引当金	△5	△2
資産合計	95,010	100,622

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度	当連結会計年度
	平成25年3月31日	平成26年3月31日
負債の部		
流動負債	12,303	10,122
支払手形及び買掛金	4,052	1,413
未払金	2,032	2,837
未払法人税等	2,465	1,956
賞与引当金	733	822
役員賞与引当金	91	191
返品調整引当金	41	45
売上値引引当金	314	660
ポイント引当金	12	16
繰延税金負債	—	0
その他	2,560	2,179
固定負債	1,084	1,710
退職給付引当金	559	—
退職給付に係る負債	—	193
繰延税金負債	41	1,037
その他	482	480
負債合計	13,387	11,833
純資産の部		
株主資本	82,392	86,535
資本金	15,000	15,000
資本剰余金	25,699	25,699
利益剰余金	43,978	48,036
自己株式	△2,285	△2,200
その他の包括利益累計額	△820	2,199
その他有価証券評価差額金	2,073	3,322
土地再評価差額金	△3,100	△3,100
為替換算調整勘定	207	1,710
退職給付に係る調整累計額	—	267
新株予約権	50	53
純資産合計	81,623	88,788
負債純資産合計	95,010	100,622

●連結損益計算書

科 目	前連結会計年度	当連結会計年度
	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日	自平成25年4月1日 至平成26年3月31日
売上高	34,639	37,576
売上原価	20,699	21,425
売上総利益	13,939	16,150
販売費及び一般管理費	7,731	9,010
営業利益	6,208	7,140
営業外収益	3,553	5,376
受取利息	1,701	1,656
受取配当金	549	1,159
投資有価証券売却益	700	1,870
為替差益	277	348
その他	325	341
営業外費用	926	1,788
投資有価証券評価損	276	211
投資有価証券売却損	—	994
有価証券償還損	588	571
その他	61	11
経常利益	8,835	10,728
特別損失	55	37
退職給付費用	55	※37
税金等調整前当期純利益	8,779	10,691
法人税、住民税及び事業税	3,114	3,176
法人税等調整額	8	577
少数株主損益調整前当期純利益	5,656	6,936
当期純利益	5,656	6,936

(単位：百万円)

●連結包括利益計算書

科 目	前連結会計年度	当連結会計年度
	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日	自平成25年4月1日 至平成26年3月31日
少数株主損益調整前当期純利益	5,656	6,936
その他包括利益	6,738	2,751
その他有価証券評価差額金	5,950	1,248
為替換算調整勘定	788	1,503
包括利益	12,395	9,688
親会社株主に係る包括利益	12,395	9,688

(単位：百万円)

●連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度	当連結会計年度
	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日	自平成25年4月1日 至平成26年3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	12,170	7,265
投資活動による キャッシュ・フロー	△2,079	△8,585
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,994	△2,787
現金及び現金同等物に 係る換算差額	440	764
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	8,537	△3,342
現金及び現金同等物の 期首残高	6,528	15,107
連結の範囲の変更に伴う現金及び 現金同等物の増減額(△は減少)	42	—
現金及び現金同等物の 期末残高	15,107	11,764

※一部の国内連結子会社は、当社グループにおける人事諸制度の一本化を目的として、平成26年3月を制度改定日として退職給付制度の統合を行っております。これに伴って、一部の国内連結子会社は、原則法に基づく退職給付債務に関する数理計算を行うことができるようになったため、退職給付債務の計算方法を簡便法から原則法に変更しております。この変更により、退職給付債務について計算した簡便法と原則法の差額37百万円を退職給付費用として特別損失に計上しております。

●連結株主資本等変動計算書 (自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)

(単位:百万円)

科目	株主資本					株主資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		
平成25年4月1日期首残高	15,000	25,699	43,978	△2,285		82,392
連結会計年度中の変動額						
剰余金の配当			△2,865			△2,865
当期純利益			6,936			6,936
自己株式の取得				△6		△6
自己株式の処分		△13		91		78
自己株式処分差損益の調整		13	△13			—
連結子会社の合併による増加額						—
利益剰余金から資本剰余金への振替						—
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						—
連結会計年度中の変動額合計	—	—	4,058	84		4,143
平成26年3月31日期末残高	15,000	25,699	48,036	△2,200		86,535

科目	その他の包括利益累計額					新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
平成25年4月1日期首残高	2,073	△3,100	207	—	△820	50	81,623
連結会計年度中の変動額							
剰余金の配当							△2,865
当期純利益							6,936
自己株式の取得						△6	△6
自己株式の処分						78	78
自己株式処分差損益の調整						—	—
連結子会社の合併による増加額						—	—
利益剰余金から資本剰余金への振替						—	—
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)	1,248	—	1,503	267	3,019	2	3,022
連結会計年度中の変動額合計	1,248	—	1,503	267	3,019	2	7,165
平成26年3月31日期末残高	3,322	△3,100	1,710	267	2,199	53	88,788

(平成26年3月31日現在)

●会社概要

商号 コーエーテックモホールディングス株式会社
(英文名称 TECMO KOEI HOLDINGS CO., LTD.)

資本金 150億円

本店所在地 神奈川県横浜市港北区箕輪町一丁目18番12号

設立年月日 平成21年4月1日

従業員数 単独 65名(※1) 連結 1,455名(※2)

※1従業員数は就業人数(社外への出向者を除き、当社への出向者を含む)です。
※2従業員数は就業人数(当社グループ外への出向者を除き、当社グループへの出向者を含む)です。

役員 (平成26年6月25日現在)

代表取締役会長	襟川 恵子	常勤監査役	森島 悟
代表取締役社長	襟川 陽一	常勤監査役(社外)	木村 正樹
取締役	鯉沼 久史	監査役(社外)	山本 千臣
取締役	阪口 一芳	監査役(社外)	北村 俊和
取締役	小林伸太郎	専務執行役員CFO	浅野健二郎
取締役顧問	柿原 康晴	執行役員	原 毅
取締役(社外)	手嶋 雅夫	執行役員	保坂 正敏
		執行役員	谷口 英徳

グループ会社

■ 国内グループ会社

株式会社コーエーテックモゲームス
株式会社コーエーテックモウェブ
株式会社コーエーテックモネット
CWS Brains株式会社
株式会社ガスト
株式会社コーエーテックモキャピタル
株式会社コーエーテックモリブ
株式会社コーエーテックモミュージック
株式会社コーエーテックモアド

■ 海外グループ会社

TECMO KOEI AMERICA Corporation(アメリカ・カリフォルニア州)
TECMO KOEI EUROPE LIMITED(イギリス・ハートフォードシャー州)
台湾光栄特庫摩股份有限公司(台湾・台北)
天津光栄特庫摩軟件有限公司(中国・天津)
北京光栄特庫摩軟件有限公司(中国・北京)
TECMO KOEI SINGAPORE Pte.Ltd.(シンガポール)
TECMO KOEI SOFTWARE VIETNAM CO., LTD.(ベトナム・ハノイ)

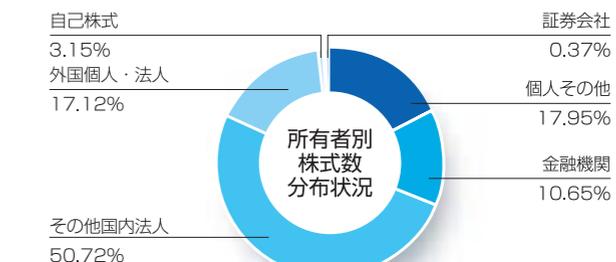
●株式の状況

発行可能株式総数・・・350,000,000株
発行済株式総数・・・89,769,479株
株主数・・・17,000名
大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
	千株	%
株式会社光優	26,991	31.05
環境科学株式会社	6,502	7.48
EUROPEAN KOYU CORPORATION B.V.	5,730	6.59
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,984	4.58
株式会社リズムスター	3,533	4.07
株式会社シーインザサン	3,533	4.07
BNYML - NON TREATY ACCOUNT	2,549	2.93
襟川 陽一	1,864	2.15
襟川 恵子	1,806	2.08
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口9)	1,784	2.05

(注)

- 1.当社は、自己株式2,834,138株を保有しておりますが、上記の大株主からは除外しております。
- 2.持株比率は自己株式を控除して計算しております。
- 3.インベスコアセット・マネジメント株式会社から平成26年4月4日付で提出された大量保有報告書(変更報告書)の写しの送付があり、平成26年3月31日現在で同社が7,778,700株保有している旨の報告を受けておりますが、当社として平成26年3月31日現在における実質保有株式数の確認ができていないため、上記大株主には含めておりません。



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 6月下旬
配当金受領株主確定日 期末配当金：3月31日
取締役会決議により中間配当を実施する場合は
中間配当金：9月30日
証券コード 3635 (東証一部)
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
同連絡先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話：0120-782-031 (フリーダイヤル)
同取次窓口 三井住友信託銀行株式会社 全国本支店
(コンサルティングオフィス・コンサルプラザ・i-Stationを除く)
公告の方法 電子公告により行います。
ただし、電子公告によることができない事故、
その他のやむを得ない事由が生じたときは、
日本経済新聞に掲載して行います。
単元株式数 100株

■ 株主優待のご案内

当社は、株主の皆様からの日ごろのご支援に感謝の意を表するとともに、当社グループの事業へのご理解を深めていただき、より多くの株主様に当社株式を中長期的に保有していただくことを目的とし、株主優待制度を実施しております。

対象株主様：毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載された当社株式を1単元(100株)以上保有されている株主様
ご優待内容：当社選定の商品を優待価格(40%割引)にてご提供

優待対象商品	保有株式数	割引適用個数
当社が選定した新作商品	100株以上 500株未満	1個まで
	500株以上 1,000株未満	2個まで
	1,000株以上 5,000株未満	3個まで
	5,000株以上	4個まで
当社が選定した 発売済み商品	100株以上 500株未満	3個まで
	500株以上 1,000株未満	4個まで
	1,000株以上 5,000株未満	5個まで
	5,000株以上	10個まで

※当社株主総会開催日以降発売の商品を新作商品といたします

ご優待期間：新作商品/当社株主総会翌日から新作商品の発売
月翌月末日まで
発売済み商品/当社株主総会翌日から7月末日まで
実施回数：毎年3月31日を基準日として年1回実施

商号変更について

平成26年7月1日より、当社および国内・海外子会社の商号・英文表記を統一し、グローバルベースでの「コーエーテックモブランド」の認知度と価値のさらなる向上を図ります。具体的には、商号・英文表記に含まれる「TECMO KOEI」の表記を「KOEI TECMO」に変更し、グループビジョン「世界No.1のエンターテインメント・コンテンツ・プロバイダー」の実現に向け邁進してまいります。

株主の皆様には、引き続き一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

当 社 新：株式会社コーエーテックモホールディングス(KOEI TECMO HOLDINGS CO., LTD.)
旧：コーエーテックモホールディングス株式会社 (TECMO KOEI HOLDINGS CO., LTD.)
主要な子会社 コーエーテックモゲームス… 新：株式会社コーエーテックモゲームス(KOEI TECMO GAMES CO., LTD.)
旧：株式会社コーエーテックモゲームス(TECMO KOEI GAMES CO., LTD.)
コーエーテックモウェーブ… 新：株式会社コーエーテックモウェーブ(KOEI TECMO WAVE CO., LTD.)
旧：株式会社コーエーテックモウェーブ(TECMO KOEI WAVE CO., LTD.)
コーエーテックモネット … 新：株式会社コーエーテックモネット(KOEI TECMO NET CO., LTD.)
旧：株式会社コーエーテックモネット(TECMO KOEI NET CO., LTD.)

※その他の子会社につきましては、当社HP(ニュースリリースページ)をご参照ください。

コーエーテックモホールディングス株式会社 神奈川県横浜市港北区箕輪町一丁目18番12号
<http://www.koeitecmo.co.jp/>

©コーエーテックモゲームス All rights reserved. ©コーエーテックモウェーブ All rights reserved. ©CWS Brains All rights reserved. ©GUST CO., LTD. 2013
当報告書に掲載されている商品名、会社名、またはロゴマークは、各社の商標、登録商標もしくは商号です。